

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

## 現在の流行状況

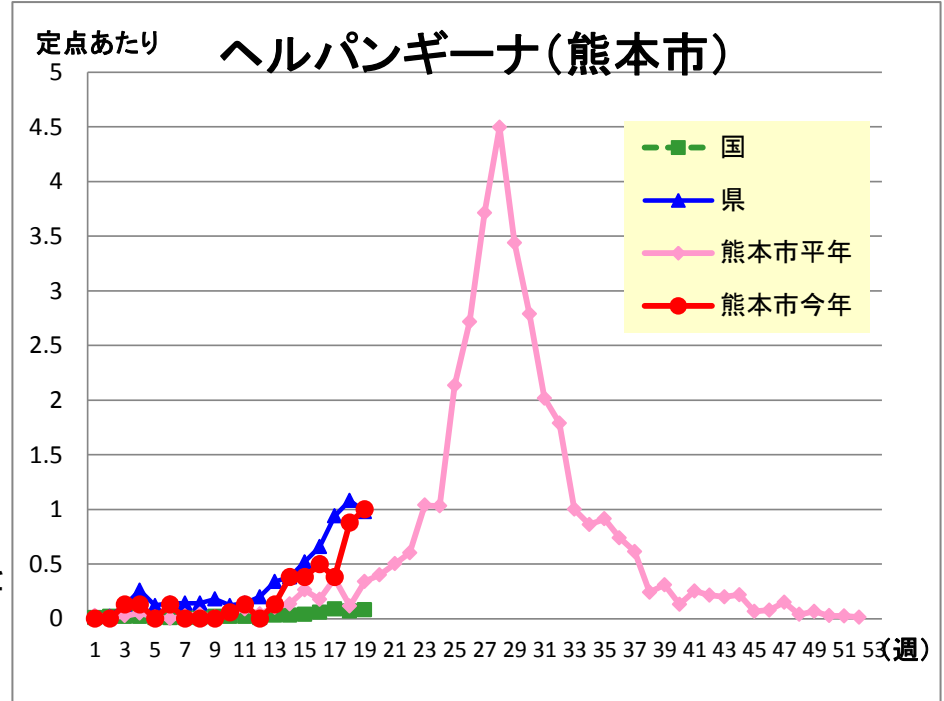
現在、熊本市で流行している疾患は特にありません。

### ヘルパンギーナに注意しましょう！

今週の報告数は16件と、例年より早い立ち上がりとなっています。

ヘルパンギーナは夏に流行する小児の急性ウイルス感染症で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。2～4日の潜伏期の後、突然の発熱で始まることが多く、口の中に小さな水疱や浅い潰瘍ができ、痛みます。ほとんどの場合経過は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎を起こすことがあります。特に、ぐったりしている、強い頭痛・嘔吐を伴う発熱が2日以上続く、などが見られた場合は医療機関を受診するようにして下さい。

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後には、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。



期 間		第18週		第19週	
		4/28～5/4		5/5～5/11	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↓	41	1.64	18	0.72
RSウイルス感染症	→	0	0.00	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	7	0.44	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	38	2.38	18	1.13
感染性胃腸炎	↓	148	9.25	103	6.44
水痘(みずぼうそう)	→	19	1.19	10	0.63
手足口病	→	24	1.56	29	1.81
伝染性紅斑(りんご病)	→	1	0.06	0	0.00
突発性発疹	→	12	0.75	8	0.50
百日咳	→	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	→	14	0.88	16	1.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	1	0.06	1	0.06
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	17	3.40	17	3.40
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	4	0.80	6	1.20